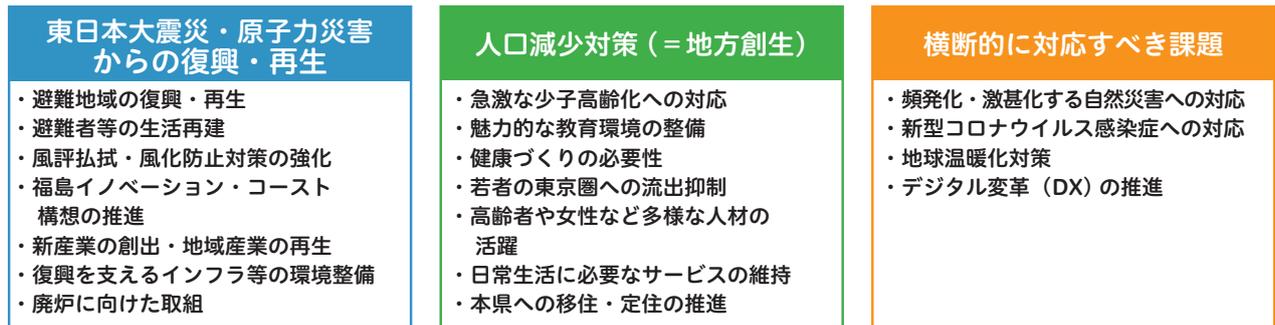


## 2 県づくりの理念

第2章「福島県を取り巻く現状と課題」と、県民の皆さんから頂いた意見を踏まえ、県民の皆さん、民間団体、市町村、県が連携しながら、「福島ならではの」将来の姿を実現するために共有する総合計画の根底にある根本的な考え方である「県づくりの理念」を整理します。

### ◆福島県を取り巻く現状と課題（第2章）

第2章「福島県を取り巻く現状と課題」においては、具体的に解決を進めるべき本県が直面する現状・課題を大きく3つに分けて整理しました。



人口減少が避けられない中で、**持続可能な地域社会を創り上げていくためには**、東日本大震災・原子力災害からの復興・再生や人口減少対策など**これまでの取組を継続しながら、新たな取組にも挑戦を進め、急激な社会情勢の変化に柔軟に対応していくことが**大切です。

### ◆県づくりの理念

**多様性に寛容で差別のない共に助け合う**  
地域社会（県）づくり  
(寛容、認め合い、つながり  
→やさしさ)

**変化や危機に  
しなやかで強靭な**  
地域社会（県）づくり  
(回復力、強靭さ、健全さ  
→すこやかさ)

**魅力を見だし  
育み伸ばす**  
地域社会（県）づくり  
(美しさ、あたたかさ、魅力・強み  
→おいしさ)

本県は原子力災害による様々な分断、風評、差別・偏見と10年にわたって、戦ってきました。また、新型コロナウイルスにより自由や人とのつながりが制限され、不安感や孤独感が增大するなどの困難に直面しています。

一方で、復興の軌跡の中で、本県に心を寄せてくださる皆さんとのご縁と協働により、数多くの絆が生まれました。

これらの経験から、本県は一人一人が互いに認め合い、つながりを広げ、共生できる地域社会（県）づくりを目指します。

本県は、東日本大震災と原子力災害、さらに大規模災害、新型コロナウイルスなど、三重、四重の困難な課題に直面し続けています。そして、それらの困難な課題へ挑戦を続けてきた経験・知見からは、災害への対応力のみならず、コミュニティの再生など、地域の人々が手を取り合って果敢に挑戦を続けている本県ならではの回復力（レジリエンス）が培われています。

この本県で培われた強みを最大限いかしながら、様々な変化に対応できる強靭さ、健全さを備えた、人と人が支え合う地域社会（県）づくりを目指します。

未曾有の複合災害の中であって、福島が誇れる、おいしい食、美しい自然、県民の温かい心など、普段の生活では気づきにくい魅力や強みを改めて認識しました。

また、震災後、福島イノベーション・コースト構想などにより構築されたロボットや再生可能エネルギーなどの研究拠点は、ふくしまの未来を創る産業振興、人材育成を推進する大きな資産です。

これらの財産を改めて見つめ直し、地域の魅力や価値に県民一人一人が関心を持ち次の世代へと育てつなげることができる地域社会（県）づくりを目指します。